延伸した西武新宿線連続立体交差事業の適切な進捗管理を

自由民主党議員団　大内　しんご

①新たな事業計画案で示された鉄道事業の供用開始時期は。②事業全体の完了時期は。③区は鉄道上部空間の15％程度を活用できるが、現在の検討状況は。④野方第１号踏切除却を含めた鉄道立体化は着工準備採択に向けて進めることができるはずである。野方駅から井荻駅間の進捗状況は。

区長　①令和14年度と聞いている。②令和15年度末まで延伸する見込みである。③活用の基本方針を検討している。④事業範囲や費用負担に関する課題について、関係機関と意見交換している。

小中学校に温水洗浄便座（ウォシュレット）の設置を

①新校舎建設費は今後、１校80億円から１００億円が予想される。建設や改築を行う学校から順次、温水洗浄便座を設置することは可能である。現在のトイレ環境の認識を伺う。②防災拠点の観点からも、温水洗浄便座を標準装備とする改修方針を検討すべきでは。

教育長　①小中学校全校において洋式化やバリアフリー対応トイレも順次設置しているところであり、安心して利用できる環境を整備してきている。②これまで設置はしていないが、利用者ニーズ等も踏まえ、今後検討していく。

区有施設を効率的に活用せよ

公明党議員団　日野　たかし

①代替校舎として利用される小中学校は、普通財産として管理され、用途未定期間がある。これらの施設について、中野区公有財産規則に定める「効率的な活用」の区の考えは。②旧新山小学校跡地には、しんやまの家の機能も含めた複合施設の整備を検討しては。

区長　①できるだけ多くの区民に利用されるのが望ましいと考える。②近隣施設を複合化することについては、検討する必要があると考える。

物価高騰を踏まえた保険医療支援を問う

①休日診療を必要とする区民が適切に受けられるよう、診療委託料を見直してはどうか。②休日当番薬局委託事業の委託料を見直してはどうか。

区長　①中野区医師会と意見交換を行い、適切な委託料となるよう検討している。②中野区薬剤師会と意見交換を行い、適切な委託料となるよう検討している。

各学校での特別支援教育における介助員を確保せよ

①現状の介助員の配置状況は。②介助員を確保するため、報酬を引き上げてはどうか。

教育長　①配置人数を増加させているが、配置人数の定数に満たない状態である。②報酬額を含め、介助員の確保策について検討する。

自転車の安全対策を図れ

①国際交流協会と連携し、外国籍の方がルールを理解できるよう、外国語のチラシや翻訳したルールブックを周知し、理解促進を図ってはどうか。②４月の青切符制度導入直前に、区民活動センター等のより多くの会場で、自転車安全利用講習会を開催しては。

区長　①国際交流協会に協力を求めたい。②各区民活動センター等で開催できるよう、警察と日程調整等行う。

ペットの防災対策を進めよ

都民ファーストの会中野区議団　黒沢　ゆか

①二次避難所に指定可能な専門学校やペットホテル等を特定し、協定締結を進めるべきでは。②災害時のガイドラインを作成し、具体的な協力体制、地域防災拠点での飼い主の役割等を周知すべきでは。

区長　①協議を進めている。②検討していく

学校作業療法室について問う

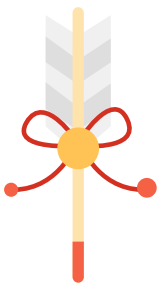
学校ＯＴ（作業療法士）配置モデルとして、導入を検討するべきではないか。

教育長　研究していきたい。

超短時間勤務の環境整備を

この勤務形態は、働く意欲はあるが、障害等の事情で長時間勤務は難しい方が、週所定労働時間20時間以下で勤務できる。採用枠を導入しては。

区長　導入を検討する。



次期「環境基本計画」を問う

立憲・国民・ネット・無所属議員団　細野　かよこ

①次期環境基本計画素案に、生物多様性の損失を止めて回復に転じさせるネイチャーポジティブの考え方が盛り込まれた。次年度実施予定の（仮称）気候区民会議とともに、ネイチャーポジティブの会議を開催し、生物多様性との相乗効果を狙ってはどうか。②リサイクル可能なのに未利用となっている資源がある。循環型社会の実現に向けて、今後資源化に取り組もうとしているものは。③一定の土地面積に対して樹木の枝葉が茂っている割合を示す樹冠被覆率を区はどう捉え、指標化を進めるのか。④子ども版環境基本計画を作成し、学校や地域で活用してはどうか。

区長　①気候変動と生物多様性保全の問題は密接に関係しており、（仮称）気候区民会議での議論の内容となってくることもありえる。②衣装ケースや羽毛布団などが考えられ、保管場所や回収体制などを総合的に検討していく。③樹木が増えることで気温上昇を抑え、ＣＯ２の吸収に寄与し、ヒートアイランド現象の緩和や地球温暖化対策を図る指標になると認識している。２０２９年３月に改定予定の「みどりの基本計画」で、指標化を検討していく。④具体的な行動が子どもにもわかりやすいものとなるよう、イラスト入りの資料を作成する。

休日診療の委託料増額を

休日診療の委託料については区の財政事情により、２００１年度から、事業開始時の２分の１に減額された。物価や人件費高騰の影響がある中、２０００年度の金額へ戻すことを検討してはどうか。

区長　適切な委託料となるよう検討している。

中野サンプラザ再整備を問う

自由民主党議員団　加藤　たくま

①サンプラザ再利用の可能性について、区は真摯（しんし）に検討できていない。旧サンプラザの各セクションにおける収益構造の客観的な分析は、解体の必要性に対する説明責任を果たし、次期サンプラザの参考にもなると考えるがどうか。②視察したＧＬＩＯＮ　ＡＲＥＮＡ　ＫＯＢＥは神戸市からの30年の定期借地、民設民営、収容人数は１万人以上で、面積としては中野区に同等の施設が建設可能である。施行予定者にはアリーナを黒字運営できるノウハウが不可欠であると考えるが区の見解は。③北広島市は条例改正などのあらゆる手段を講じ、エスコンフィールドＨＯＫＫＡＩＤＯを誘致した。一方、中野区には血を騒がせる大きなビジョンがない。再開発における区の覚悟は。

区長　①再整備事業計画の見直しや、事業者公募において参考になると思われるため、可能な範囲で調査する。②多目的ホールの運営ノウハウを有していることも選定要素の一つになると考えている。③「中野駅周辺まちづくりグランドデザインＶｅｒ．３」等に基づき、様々な整備を進めている。区民が誇らしく思える、１００年先を見据えたまちづくりを実現していく。

不登校への対応を問う

立憲・国民・ネット・無所属議員団　山本　たかし

①現在の教育センターは、区の北側エリアからのアクセスが良いとは言えない。地域偏在の課題を解決するため、フリーステップルームがない他地域への展開を検討するべきではないか。②不登校の生徒のうち、学校内外で支援を受けられていない生徒は現状何人いるか。③心理的な支援は受けているが学習に取り組めておらず、出席と認められていない生徒は現状何人いて、どのような状況か。④出席と認められていない生徒に、バーチャル・ラーニング・プラットフォームへの参加を積極的に促すべきではないか。

教育長　①フリーステップルーム分室の設置について検討していく。②65人である。③27人であり、この中の多くの生徒は家から出ることが難しく、スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問等で支援を受けている。④体制を整備し、参加を促していきたい。

卒業アルバム制作工程の見直しを図れ

区が契約主体となることにより、一定の費用や仕様の質が保たれ、また、教員や保護者の負担が軽減できる。各学校における現状の卒業アルバム制作の実態や課題等の調査をするべきではないか。

教育長　今後、必要に応じて把握していく。

地域防災力の向上に取り組め

地域防災力・区民意識の向上への取り組みとして、子どもも保護者も楽しめる小学校での親子防災訓練や啓発イベントを実施してはどうか。

区長　ＰＴＡが主催する防災イベントが小学校で実施されており、要望に応じて、区も積極的に協力していく。

区議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会の傍聴は、どなたでもできます。本会議場には、親子傍聴席をご用意しています。小さなお子様をお連れの方などは、一般席と親子席のどちらでも傍聴ができます。傍聴希望の方は、会議の当日、区議会事務局（区役所10階）で傍聴の手続きをしてください。

受付は会議開会の１時間前から、入場は30分前からになります。本会議は定員１００人、委員会は定員15人です。

詳しくは、なかの区議会ホームページの「お知らせ一覧」をご覧ください。

【問合せ】区議会事務局